

県議会議員

# あらい絹世の磯つ子レポート


<http://www.araikinuyo.jp>

## 神奈川県内の米軍基地 返還進む一方で拠点機能担う

4月初旬、県議会の自民党有志で、キャンプ座間(座間市、相模原市)と厚木海軍飛行場(大和市、綾瀬市、海老名市)の在日米軍基地2カ所を視察してきました。在日米海軍の司令部が置かれ、米第7艦隊等の支援を行い、原子力空母の母港となっている横須賀海軍施設と密接な厚木基地は、空母艦載機などの整備、補給、支援を行っています。キャンプ座間は在日米陸軍と陸軍第1軍団の司令部が置かれており、両基地とも自衛隊と共同使用しています。初の基地視察で感じたのは、人口が密集する市街地に、広大でしかも拠点となる基地が同居している不自然な光景でした。

今日の在日米軍基地は、先の戦争で日本が米国主体の連合国に無条件降伏し、旧日本帝国軍隊の施設が米軍に接収されたことに始まり、1960年に結ばれた新しい日米安保条約の地位協定の規定(米軍が日本防衛に義務を負う見返りに基地、資金などさまざまな特権を提供する)を根拠としています。全国に132カ所あり、面積は合計約10万2709ha(東京都の半分弱)に上ります(平成25年1月1日現在)。米軍基地数が多い都道府県は①沖縄 ②北海道 ③神奈川、面積の広さから見ると本県は全国11番目ですが、米軍の枢要な基地があり神奈川は沖縄とともに『基地県』といえるでしょう。



神奈川の基地は、平和条約が発効し、日本に主権が戻った1952年時点で162カ所・約3586haでしたが、今春時点では14カ所・約2084haに縮小しています。広いのは厚木基地(約507ha)、池子住宅地区および海軍補助施設(約288ha)、上瀬谷通信施設(約242ha)などで、横須賀海軍施設やキャンプ座間はいずれも240ha弱です。最も近くに全面返還されたのは横浜市の富岡倉庫地区(2009年、約2.9ha)。日米で返還が合意されているのは横浜市内の4カ所(上瀬谷通信施設、深谷通信所、根岸住宅地区など)の全面、相模総合補給廠とキャンプ座間のそれ一部。厚木基地では、2014年までに空母艦載機59機を岩国飛行場に移転させる計画について国が3年遅れとなる見通しを示し、県や地元などが延期しないよう要請しています。また地元民から離着陸訓練などによる航空機騒音への苦情が多いため、国は国内の離島を念頭に訓練地の移転先の選定作業を進めています。

コレが言いたい!



在日米軍基地は、時代の情勢、米国の方針、米軍の再編、日本の事情などによって姿を変えています。東日本大震災の際、米軍が行った“トモダチ作戦”では厚木基地やキャンプ座間も救援活動に活用され、昨年9月に大規模災害を想定した救急医療訓練では米軍が参加するなど災害時の相互支援の役割も担っています。一方で自治体、住民など地元の声をより大事にし、市民一人ひとりが基地問題を身近な問題として考えられるよう情報提供を充実させるべき時代にきていることを感じさせられました。

今月の  
ひと言

中国での新型インフルエンザの流行を受け、新型インフルエンザ等対策特別措置法が4月13日に施行されました。新型インフルエンザの流行により緊急事態が宣言された場合、都道府県知事による住民への外出自粛が可能になるなどの規定が盛り込まれています。国内では発生していないが「うがい・手洗い」に心がけましょう。



# 磯子 あれ? これ?



かつては神奈川県久良岐郡に属していましたが昭和2年10月1日に区制が施行され、磯子区や中区・保土ヶ谷区など5区が横浜市に誕生しました。それに伴いそれまで「森」にあった市役所出張所が廃止され、現在の磯子消防署の場所に区役所が建てられ昭和42年まで区政の中心的役割を果たしました。磯子区は風光明媚で、遠浅の海岸が中区本牧から金沢区富岡まで続き、春は潮干狩り・夏は海水浴や花火見物、そして冬は海苔の養殖が行われていました。また、料亭や別荘も建ち並び、今でも磯子駅前の丘の上には「東伏見伯爵」の別邸が現存しています。その美しい海岸も明治の頃から部分的埋め立てが行われ、昭和34年頃からの高度経済成長に合わせた大規模な埋め立てにより一大工業地帯へと姿を変え、今ではかつての面影を見る事はありません。

昭和40年7月に海岸の代替として横浜市民プール(マンモスプール)が完成し、シーズンともなれば区民はもとより市内外から多くの利用者で連日賑わっています。



## 活動報告

3月26日～29日、自民党厚生部会で福岡県の九州大学病院の看護実践教育現場や兵庫県神戸市の医療産業都市、京都府京都大学のiPS細胞研究所で先進医療の現場、

また4月4日にはキャンプ座間や厚木基地の視察を行いました。



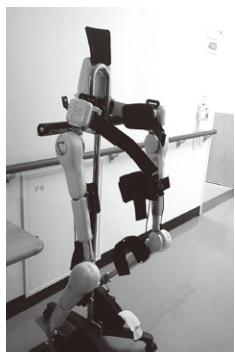
Center for  
iPS Cell Research and  
Application

京都大学  
iPS細胞研究所

「iPS細胞研究所」の視察  
(京都府京都大学)



「看護実践教育現場」(九州大学病院)



「医療ロボット」  
(福岡県福岡大学病院)



「医療産業都市」(神戸市)



キャンプ座間

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 平成23年4月 県議会議員初当選
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 厚生常任委員
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン
- 社会問題対策特別委員



■あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい…………… FAX 045-761-7451